

令和2年度事業報告

1 小型船舶の交通安全に関する教育（公益1）

○ 海難防止講習会

（1）海上安全講習会

各地区の小型船安全協会会員を主としたプレジャーボート等の小型船のオーナー・ユーザー等の関係者及び水上バイクの会員を対象に安全講習会を次のとおり開催した。

| 地 区 | 回 数 | 受講者数 |
|--------|-----|------|
| 伊万里湾地区 | 1 | 26人 |

新型コロナウイルス感拡大防止のため中止した地区については、書面講習を実施した。

| 地 区 | 受講者数 |
|------------|------|
| 門司・下関地区 | 131 |
| 宇部地区 | 43 |
| 洞海地区 | 64 |
| 芦屋地区 | 21 |
| ひびき灘地区 | 86 |
| 福岡地区 | 42 |
| 有明海地区 | 67 |
| 唐津玄海地区 | 26 |
| 長崎地区 | 243 |
| 大分地区 | 33 |
| 臼杵地区 | 68 |
| 津久見地区 | 35 |
| 長門地区 | 17 |
| 萩地区 | 50 |
| 西港地区 | 11 |
| 福岡海洋スポーツ協会 | 32 |
| 玄海マリーナ | 20 |
| 合 計 | 989人 |

(2) 安全講習会受講旗配布

当協会会員が積極的に安全講習会に参加することで、同会員をはじめ海洋レクリエーションの用に供する小型船舶の関係者の海難を防止するとともに、運航マナーの向上を図ることにより、安全で秩序あるマリンレジャーの普及と発展に寄与することを目的として安全講習会受講旗17ヶ所及び各保安部署に1,033枚配布した。また、船舶を持たない会員及び水上バイクの会員に安全講習会受講証を関門地区・芦屋地区・各保安部署に23枚配布した。(令和2年度緑色)

(3) 小型船夜間航海実習研修

委託者 : 運輸安全委員会事務局 門司事務所

実施日 : 令和2年10月27日(火)

小型船による夜間航行の体験を通じて、小型船の運航に関する基礎的な知識を習得することを目的に実施した。

① オリエンテーション(門司区港町7-8 郵船ビル3階会議室)

関門海峡の概要と小型船舶と題して、関門海峡の特徴、関門海峡における船舶の航跡、関門海峡の航路標識、視界不良の状況等の説明を行った。

② 航海体験実習場所: 門司港第6船溜まり～部埼灯台～若松航路～六連島

状況に応じて途中停泊、レーダーの使用、周辺の状況、見張りの方法、他船の見え具合、航海計器の使用方法を説明。

使用船舶 : 白洋

参加人員 : 調査官 6名・海上安全指導員 1名、会員(船長) 1名
九州北部小型船安全協会 事務局 2名

○ 広報活動

(1) カレンダーの作成

安全運航を啓蒙するため「海難0への願い」と題し、自己救命策3つの基本として、「ライフジャケットの着用」、「適切な連絡手段の確保」、「海の緊急通報118番」を訴えるカレンダーを公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成配布した。

イ 規格・作成部数 A2番 カラー 200部

ロ 配布先 各地区小型船安全協会及びその関係先

(2) マリンセーフティブックの作成

主として海上安全指導員が、陸上から訪船する現場指導やパトロール艇による海上パトロールの際に、相手に手渡す指導啓蒙用及び会員募集用のマリンセーフティブックを作成し配布した。

- イ 規格作成部数 21cm×14.8cm版 31ページカラー 1,000部
- ロ 配布先 ① 小型船安全協会会員及びその他のプレジャーボート等小型船のオーナー・ユーザー、マリーナ等

2 小型船舶に対する安全パトロール（公益1）

○ 海上安全指導員による安全活動

（1）海上安全パトロール （2）海浜パトロール

海上安全指導員に、主として日祝日等のマリンレジャーの活発な海域での安全パトロール艇によるパトロールと訪船指導を依頼し、プレジャーボート等の小型船に対し救命胴衣の常時着用、航海計画の内容、船体・機関・装備品の整備状況、気象の把握等に関して次のとおり指導した。

また、マリンレジャーが盛んな時期において、海水浴場周辺に出動し、海水浴場等来場者の安全を確保し、砂浜付近まだ進出可能な水上バイクの会員と連携し、安全指導を実施した。

① 各保安部署との合同パトロール

| 地 区 | 現場指導人数 | 現場指導隻数 |
|---------|--------|--------|
| 門司・下関地区 | 26 | 10 |
| 西港地区 | 17 | 5 |
| 宇部地区 | 4 | 6 |
| 洞海地区 | 6 | 3 |
| ひびき灘地区 | 6 | 3 |
| 福岡地区 | 24 | 10 |
| 伊万里湾地区 | 14 | 7 |
| 長崎地区 | 31 | 18 |
| 大分地区 | 4 | 5 |
| 臼杵地区 | 20 | 12 |
| 津久見地区 | 19 | 8 |
| 萩地区 | 20 | 9 |
| 平戸地区 | 44 | 10 |
| 合 計 | 235人 | 106隻 |

② 当協会に所属する海上安全指導員の活動

| 地 区 | 現場指導人数 | 現場指導隻数 |
|------------|--------|--------|
| 門司・下関・西港地区 | 141 | 112 |
| 宇部地区 | 304 | 217 |

| | | |
|----------|-------|-------|
| みやこ地区 | 159 | 125 |
| 洞海地区 | 296 | 121 |
| 芦屋地区 | 120 | 78 |
| ひびき灘地区 | 25 | 11 |
| 福岡地区 | 373 | 281 |
| 玄海マリーナ | 5 | 5 |
| 海洋スポーツ協会 | 4 | 6 |
| 有明海地区 | 162 | 108 |
| 唐津玄海地区 | 103 | 69 |
| 伊万里湾地区 | 240 | 125 |
| 佐世保地区 | 299 | 241 |
| 平戸地区 | 842 | 499 |
| 長崎地区 | 1322 | 1022 |
| 対馬地区 | 212 | 167 |
| 豊前海地区 | 140 | 140 |
| 大分地区 | 167 | 156 |
| 臼杵地区 | 276 | 228 |
| 津久見地区 | 156 | 136 |
| 佐伯地区 | 19 | 14 |
| 長門地区 | 12 | 22 |
| 萩地区 | 1220 | 447 |
| 合計 | 6597人 | 4330隻 |

(3) 海上安全指導員連絡調整会議

各地区の小型船安全協会に所属する海上安全指導員の代表及び水上バイクの海上安全指導員が活動する上での問題点等について検討するとともに各地区の海上安全指導員とのコミュニケーションを図ることを目的に実施した。

実施日：令和2年12月8日(火)

実施場所：門司港湾合同庁舎 7階 会議室

出席者：第七管区海上保安本部 交通部 3名

各地区海上安全指導員 18名

実施内容：講演 マリンクラブネイビー代表取締役

「マリンレジャーの多様化と海上安全指導員活動について」

(株)ウェーブピーク・海上安全指導員

「マリンアクティビティの現状について」

第七管区海上保安本部交通部安全対策課より「地区小型船安全協会の海上安全指導員指定の手続き」について説明があった。また、各地区所属の海上安全指導員より、活動報告及び現場での問題点等の報告、第七管区海上保安本部安全対策課への質疑応答があった。

3 小型船舶の安全思想の普及及び宣伝（公益2）

○ 海上イベントへの協力等

(1) 関門港ボート天国

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) ちびっ子カーニバル2020

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(3) 安全啓発グッズの作成配布

① うちわ オレンジ

2000枚

海の事故ゼロキャンペーン用として、公益社団法人中部小型船安全協会と共同で作成した。

配布先 : 会員及び各海上保安部署、海上安全パトロール
1520枚配布した。

(4) 2020九州ボートショー in福岡

開催日 : 令和2年4月18日(土)、19日(日)

場所 : 福岡市ヨットハーバー特設会場

令和2年2月27日、九州ボートショー実行委員会より、新型コロナ感染拡大防止のため中止の連絡があった。

(5) 西部ふれあい祭り

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

4 小型船舶の交通安全に関する調査及び研究（公益1）

○ 調査研究受託事業

(1) 小型船舶の活動海域の実態調査

九州北部海域の小型船舶の海難の一つとして、航行中の漁船が見張り不十分に

より停泊中のプレジャーボートと衝突する事故が頻発していることから、これの防止のため、プレジャーボートの活動海域の調査を実施した。

委託者 : 公益社団法人西部海難防止協会

本調査は、3年計画としており、次の講習会場を利用する講習者を調査した。

①1年目(済) 若松、福岡、佐賀、対馬

②2年目(済) 三池、長崎、佐世保、平戸、五島

③3年目 関門、仙崎、萩、宇部、苅田、大分、国東、佐伯、津久見
前項②により得られたデータを分析し、活動海域一覧図を作成。

A4版に製本した報告書2部及び報告書の電子媒体(CD)1枚を納品した。

(2) 令和2年度小型船舶在泊状況調査

① 大分県

大分県の管内の漁港、マリーナ、河川等に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査することにより小型船舶の安全対策に資することを目的に調査を実施した。

委託者 : 公益社団法人西部海難防止協会

対象船舶 : 漁港等に在泊する船舶とし、漁船、プレジャーボート以外の貨物船、作業船等はその他として分類する。

大分県の漁港等(第七管区海上保安本部管轄海域)に在泊する漁船、プレジャーボート等を調査し、位置図、在泊の状況写真、漁船、プレジャーボート等種別の集計表、在泊する漁港等の管理者、連絡先(河川等不明なものは除く)調査しデータを一覧表にまとめ報告書を作成した、報告書2部、電子媒体(CD)1枚を納品した。

5 小型船による災害支援活動(公益1)

○人命救助訓練

(1) 訓練

イ 各地区小型船安全協会において、海上保安部署のもとで次のとおり人命救助訓練を実施した。

| 地 区 | 実施回数 | 参加人員 | 参加隻数 |
|-------------|------|------|------|
| 宇 部 地 区 | 1 | 23 | 2 |
| 長 崎 地 区 | 1 | 48 | 3 |
| 伊 万 里 湾 地 区 | 1 | 21 | 6 |
| 萩 地 区 | 1 | 30 | 3 |
| 合 計 | 4回 | 122人 | 14隻 |

(2) 救命胴衣等の貸与

新規の海上安全指導員に対し、指導時の安全確保と着用指導員として救命胴救
9着、マリンハット3個貸与した。

6 その他本協会の目的を達成するため必要な事業

○その他の事業

(1) 関係会議への出席

| | | |
|--------|--|---|
| 令和2年6月 | 「宇部港大型客船入出港の伴う航行安全対策調査 専門委員会 第2回」 | (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) |
| 7月 | 「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う 航行安全対策調査専門委員会 第2回」 「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う 航行安全対策調査操船シュミレータ実験」 「新門司沖土砂処分場(Ⅱ期)整備に伴う航行安全 対策調査検討部会」 | (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) |
| 9月 | 「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う 航行安全対策作業部会」 「三池港コンテナ船夜間出港に伴う航行安全対策 調査専門委員会」 | (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (萬矢副会長出席) |
| 10月 | 「西海江島沖洋上風力発電事業に係る航行安全調 査専門委員会」 「宇部港大型客船入出港の伴う航行安全対策調査 専門委員会 第3回」 「北九州響灘洋上ウインドファーム(仮称)開発計画に伴う 航行安全対策調査専門委員会 第3回」 「三池港コンテナ船夜間出港に伴う航行安全対策 調査専門委員会 第2回」 | (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (萬矢副会長出席) |
| 11月 | 「令和2年度全国海難防止等連絡調整会議」 | (公社)日本海難防止協会 (富賀見会長・中嶋専務理 事出席) |
| 12月 | 「長崎港大型客船夜間入出港に伴う航行安全対策 調査専門委員会 第1回」 「北九州港(浅野地区)客船入出港に伴う航行安全 対策調査専門委員会」 | (公社)西部海難防止協会 (中ノ瀬理事出席) (中嶋専務理事出席) |

| | | |
|--------|---|---|
| 令和3年1月 | 「長崎港(松が枝地区)客船入出港に伴う航行安全対策専門委員会」 | (公社)西部海難防止協会 (中ノ瀬理事出席) |
| 2月 | 「西海・江島沖洋上風力発電事業に伴う航行安全対策調査専門委員会」 「三池港コンテナ船夜間出港に伴う航行安全対策調査専門委員会」 | (公社)西部海難防止協会 (中嶋専務理事出席) (萬矢副会長出席) |
| 3月 | 「長崎港(松が枝地区)客船入出港に伴う航行安全対策専門委員会 (第2回)」 「長崎港大型客船夜間入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会 第2回」 | (公社)西部海難防止協会 (中ノ瀬理事出席) (中ノ瀬理事出席) |

○物品販売事業 (収益)

(1) 協会旗頒布

当協会会員の団結と意識の向上を促し、対外的に本会の活動をアピールすることを目的として130枚を有料にて頒布した。